

# ふるさとだより

2014  
春

第153号

発行：社会福祉法人 ふるさと 発行日：平成26年5月12日



## ふるさと春爛漫



### 「グレートジャーニー」

700万年前、アフリカに誕生した人類が400万年をかけて、ユーラシア大陸を通り、アメリカ大陸にまで拡散していった約5万3千キロの道のりのことを「グレートジャーニー」と呼ばれています。その途方もなく果てしない行程を10年という歳月をかけ、人力のみで踏破した日本人が、医師で、探検家の関野吉晴さんです。

関野さんの旅の中でも特に印象深いのが、最難関といわれるベリング海峡横断のエピソード。氷が張るのを待って徒歩で渡ろうとしたり、帆船を造ったりと、何度も挑戦しては失敗の繰り返しだったそうです。ついにはシーカヤックで挑み、ようやく横断に成功。初めての挑戦から4か月が経っていました。グレートジャーニーの成功は、そうした数えきれないほどの失敗の上に成り立っていると語られています。

今の日本では、成果を急ぐあまり失敗を許せない社会になっているのかもしれない。しかし、この春入職された7人の新任職員の皆さんには、失敗を恐れず、志を高く持ち、何事にも果敢に挑戦して未来を拓いていってほしいものです。

社会福祉法人 ふるさと

理事長 北島 淳朗



# 社会福祉法人ふるさと 理事長交代式典

去る3月30日に特別養護老人ホームふるさとの交流ホールにおいて、当法人理事長の交代式典が執り行われました。前理事長は施設開設以来40年近く、全身全霊を傾けて老人福祉の発展に打ち込まれ、今日のふるさとの礎を築かれました。その永年の功績に対し、法人役職員一同、心からの敬意と感謝の意を表します。

新年度よりは、新理事長を中心に一致団結し、地域福祉の向上はもとより、これまで以上に地域社会に貢献できる社会福祉法人を目指して精進してまいります。

## 退任にあたって

名誉理事長 北島 榮



思い起こせば今から40数年前、竹馬の友七人が呼びかけ合い、何か社会に役に立つことができないか、と始めたのが老人ホームでした。当時は文献もほとんどが外国のもので、国内における事例研究もなく、試行錯誤の毎日が続きました。さらに、老人ホームは、「姥捨て山」というイメージが強く、社会の関心も低かったことから、まずは住民の皆さんに老人ホームを知っていただくことから始めたことを昨日のように思い出します。

それから半世紀近くが経ち、介護保険がスタートしたことにより、「措置」から「契約」へと大きく事業環境が変化してきました。そうした環境の中においても常に地域に開かれた施設運営の姿勢を心がけ、地域社会の一助となるよう努めて参りました。この間、認知症対応型グループホームの開設、介護と生活の質の向上をめざした個室ユニット型特養への転換、そして昨年は、高齢者住宅と小規模多機能ホームを併設したシニアライフサポートセンターの開所と、進展する高齢社会における福祉ニーズにも微力ながらも応えることができたのではないかと自負しております。

しかし、これらのことは私ども法人だけで成し遂げられるものではありません。ひとえに、延べ3,000名近いご利用者様とご家族、そして地域や関係者の皆様の施設に対するご理解とご支援があったればこそであり、ここに改めて心から感謝の意を表すところです。本当にありがとうございました。

さて、これからは「大介護時代」と言われるように、高齢者福祉を取り巻く環境は一層厳しく、険しい道のりになることが予想されます。私は三月末日をもって理事長の職を退任することになりましたが、社会福祉法人ふるさとには、創始の精神を忘れることなく、これからも地域とともに福祉の向上に寄与することを強く念じるものです。

最後に、今後とも当法人への皆様方の変らぬご支援ご指導を引き続きお願い申し上げます、退任の言葉といたします。

## 誓いの言葉 ~次なる50年を見据えて~

新理事長 北島 淳朗



昭和38年に老人福祉法が制定され、50年の歳月が経ちました。この間、急速な少子高齢化の進展により社会保障制度が大きく様変わりするなど、高齢者福祉を取り巻く環境も激変しています。先が見えない介護保険財源問題、急増する認知症高齢者への対策、介護従事者の人材不足といった山積する介護事業の課題はもとより、民間企業とのイコールフィッティングや参入促進を目論む国の動きなど、我々社会福祉法人の存在自体が問われているとも言えます。

その問いかけへの答え。それは、社会福祉事業を担うために生まれた「社会福祉法人」だからこそ成し得る社会への貢献ではないでしょうか。福祉をより身近に感じてもらい、安心して暮らせる福祉社会実現のお手伝いです。そのためには、介護の質はもちろん、そこに携わる全ての人材を育て、地域の一員としてその責を担うことが大切です。つまり、「介護力」×「人間力」×「地域力」により「総合福祉力」を高め、これまで以上に地域社会のお役に立てる社会福祉法人へと進化することが期待されているのです。その期待に応えるためにも、ともに働く同志が生きがいとやりがいを感じられる魅力ある職場づくりにも力を注ぐ必要があります。利用する人にも働く人にも幸せを与えられる互惠互助に満ちた法人づくりを目指してまいります。

高齢者1人を9人で支えていた胴上げ時代が終わり、1人の高齢者を1人が支える次の50年へと向かおうとしている今、前理事長が築き上げられた「共助共援」による法人経営の精神を受け継ぎ、これからも地域から必要とされる社会福祉法人として専心努力することをここに誓います。



北島淳朗新理事長挨拶



山口俊雄理事による役員代表挨拶



法人旗引き継ぎ



## 南小からのお花のプレゼント



1月23日(木) 西海南小学校3年生、4年生の皆さんからメッセージカード、プランターのプレゼントがありました。

## 可愛らしい踊りの訪問



1月28日(火) 樹心保育園おゆうぎ訪問がありました。

## 懐かしい歌の贈り物



3月28日(金) 大島町出身、坂本日出男様が訪問され、懐かしい童謡を聞かせて頂きました。

## ご長寿のお祝い



利用者の内田錦二様が100歳の誕生日を迎えられました。ご家族もお祝いに来られ、田中市長や金森先生からもお祝いを受けました。これからもお元気で過ごしてください。



## エコキャップ運動

「エコキャップ運動」とは、ペットボトルのキャップを集め再資源化することでCO2削減につながり、その利益で世界の子供たちにワクチンを寄贈し救済する運動の事です。

夏ユニット職員で集めた6,235個のキャップは、7.3人分のワクチンとなりました。引き続きキャップを集めてますので、皆様ご協力お願いします。



## 家族会総会



4月20日(日)に家族会総会を開催し、平成25年度の事業報告・会計報告等が全会一致で承認されました。



# グループホーム ふるさと



## パーティー

2月14日(金)のバレンタインデーに、女性スタッフより男性利用者様へチョコのプレゼントがありました。他にも手巻き寿司や焼きそば会など楽しい行事で笑顔があふれています。



### バレンタイン



### 手巻き寿司



### 焼きそば



## ドライブ 花見



西海橋や七ツ釜鍾乳洞までドライブに行き、満開の桜を眺めてきました。皆さん喜ばれ、ほのほのとした一日を過ごされました。



歌の本を見て一緒に歌っています。

## 日常風景



ツツもき



ツツ取り手伝い



習字 … 月に2回ある習字教室。みなさんとっても上手に書かれています。



# 第2グループホーム ふるさと



## 節分豆まき



2月3日(月)節分の豆まきを行いました。今年の年女は、ご利用者、職員合わせて4名の方々がおられ、豆をまいて頂きました。「こっちゃん、もつと投げて」と言われ、夢中になって豆やお菓子を拾われていました。



## ひなまつり



3月3日(月)ひなまつりを催しました。職員がお内裏様とお雛様の仮装をして、踊ったり歌ったりしました。「美味しかねえ」と言いながら、桜餅をばくり。笑顔が見られ、喜んで頂けたようです。



## 山下様 米寿お祝い



2月17日(月)めでたく米寿を迎えられた山下様をお祝いしました。これからも長生きしてくださいね。ご長寿おめでとうございます。

## 里山の春まつり



3月22日(土)、23日(日)に、里山の春まつりに出掛けました。さいかい元気村で行われ、昔懐かしい三輪トラックや建物があったり、手作りのピザやお菓子が売られたりしていました。三輪トラックを見て「こりゃ、昔のトラックじゃろ」と懐かしがられていました。

## 日常・行事



種芋植え



いわしつみ



漬け物作り



3B体操



## ケア付き住宅での暮らし



### トロミ剤の 使い方の講座

3月28日(金) フードケア 平林さんに来て頂き、お茶や牛乳へのトロミ剤の使用法を実演後、実際に使って頂きました。トロミの付き具合や味、喉の通り等を確認されています。皆さん質問をたくさんされ、関心を示されていました。

## 脳トレーニング

音読や記憶、回想などスクリーンに投影されたスライドを使って



頭を働かせる「脳トレーニング」を毎月行っています。皆さんあっという間に答えられ、課題を作成する職員も「次はもう少し難しいものを考えてきます。」と、毎回頭を働かせています。

## ふるさとキッズ(託児)



3月3日(月) サポートセンターのひな祭りに参加しました。初めての甘酒でしたが、ゴクゴク飲み干しました。楽しくおいひな祭りでした。

## 小規模多機能ホーム(通い)の様子

### 花見会



4月4日(金) 法人内各施設の皆さんにも来て頂き、花見会を行いました。桜茶と茶菓子を頂きながら、和やかな雰囲気では話はずみ、詩吟から歌、踊りまで披露され華やかに進みました。最後は職員の「さくら音頭」で幕を閉じ、楽しい時間はあっという間に終わってしまいました。

## たこ焼きパーティー



3月25日(火) 大阪にちなみ「浪花節だよ人生は」の曲を流しながらおやつ作りを行いました。たこ焼きを作った事のない方がほとんどでしたが、皆さん焼き加減をみながら上手に焼かれました。

### 編集後記



新年度となりました。新たな体制となり、まだ不慣れな所もありますが、皆様により多くの情報をお伝えできるように頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお祈りします。

### 行事のお知らせ

7月に夏祭りを開催します。駐車場が少ないので、ぜひ乗り合わせてお越しください。



日時：2014年7月26日(土)  
場所：特別養護老人ホームふるさと 駐車場